

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

1 「好きなものをプレゼンテーションしよう」という課題に対する【原田さんのスピーチ】と【スピーチメモ】である。これらを読んで次の問いに答えなさい。

【原田さんのスピーチ】

私は四才のときにダンスを始めました。テーマパークに行ったとき、パレードでダンサーが踊っているのを見て私も踊りたいと思ったことがきっかけです。ワクワクしながら始めたものの、最初は振り付けが覚えられなくていつも泣いてばかりでした。三年生になるころには、選抜メンバーに選ばれ、ダンスコンテストに出られるようになりました。毎日お母さんに見てもらいながら練習をしていました。踊るのは楽しいのですがコンテストでなかなか入賞できず、ダンスをやめようと思うこともありました。五年生のときのコンテストは今でもよく覚えていませす。表彰式で他のチームが次々と呼ばれ、「だめだらうなあ」とあきらめていたとき、自分のチームが呼ばれました。準優勝です。気付くと涙がこぼれていたのを覚えています。つらい思いをすることもあつたけれど、続けていってよかったです。やっぱり私はダンスが大好きです。

【スピーチメモ】

四才からダンス
テーマパークで
最初は泣いてばかり
三年生
コンテストに出られる
練習の様子
入賞× やめようかな…
五年生
「コンテストは今でもよく覚えています」
コンテスト準優勝
自分は呼ばれず
あきらめ
呼ばれた！泣いた！
ダンス大好き

- (1) 【原田さんのスピーチ】には、どんな工夫がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。レベル7・8
- 自分の心情には触れず事実を中心に話すことで、聞き手の想像力をかきたてている。
 - 聞き手に感想を求める言葉をいれることで、スピーチに引き込もうとしている。
 - 周りの人のセリフや詳しい様子を述べることで、スピーチに臨場感をもたせている。
 - 難しい言葉やダンスの専門用語を避けることで、伝わりやすいスピーチにしている。
- ※感想を求める言葉：「好きですか?」「どう思いますか?」など呼びかけ
1自分の心情に触れず↓触れている。2・3感想を求める言葉や周りの人のセリフはスピーチやスピーチメモの中に出てこない。
- (2) 【原田さんのスピーチ】と【スピーチメモ】を比較し、【スピーチメモ】に見られる工夫を書きなさい。レベル6

4

例…全文でなく内容を簡条書きにしている。 必要なセリフを括弧で目立たせている

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第二学年 国語

模範解答



組
番号
名前

【自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く問題】

1 川口さんは、「卒業」をテーマに俳句を創作しています。次は、川口さんが、【創作している俳句】とその俳句の に入れる【言葉の候補】、川口さんが見ている

【辞典の記述】です。あなたなら、【言葉の候補】の中のどの言葉を選びますか。AからCまでの中から一つ選び、（【言葉の候補】の中のどの言葉を選んでもかまいません。）それを選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。レベル9〜11

【創作している俳句】

卒業に こぼれる涙

と

【辞典の記述】

ほろほろ ① 涙や葉・花びらといった小さく軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる様子。② 山鳥・雉・鳩といった鳥の鳴く声。

ぼろぼろ ① 大粒の涙をこぼす様子。かたまりや粒などが、続けてこぼれ落ちたり崩れたりする様子。② 物がひどく破れたり崩れたりしている様子。

ぼろぼろ ① 涙や小さい粒状のものが、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子。② ひとたまりになつていたものが水分を失って、ばらばらになる様子。

【言葉の候補】

- A ほろほろ
- B ぼろぼろ
- C ぼろぼろ

条件1 選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くこと。

条件2 選んだ【言葉の候補】を用いることで、どのような情景や心情を表現できると考えたのかを、条件1で取り上げた意味をもとに具体的に書くこと。

← 選んだ【言葉の候補】を塗りつぶしなさい。

【言葉の候補】

○ ● ○

A 私は「ほろほろ」の「小さく軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。「ぼろぼろ」には「大粒の涙をこぼす」、「ぼろぼろ」には「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」などの意味がありますが、私は、卒業式の厳かな雰囲気の中で静かに涙を流す様子を表現したいので、「音もなく」という意味がある「ほろほろ」を選びました。

B

音もなく涙を流す様子を表す「ほろほろ」や、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子を表す「ぼろぼろ」ではなく、大粒の涙を流す様子を表す「ぼろぼろ」という言葉を選んだ。なぜなら、三年間とも過ごした仲間たちと別れる悲しみの深さを、涙の大きさを表したからだ。

C

私は「ぼろぼろ」という言葉だけにある「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。私は、中学校生活のたくさんの出来事を一つずつ思い出している卒業生の心情をこの俳句で表現したいと考えました。



復習シート 第二学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【R3】 復習シート 中学校2年 国語（読むこと）

【文章の構成や論理の展開について読む問題】

1 次の文章は、小鳩さんが書いた意見文です。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

序論 (話題提示、問題提起)

現在、私達の生活は、人工知能（AI）などの急速な発展により、便利で快適なものになりつつある。離れた場所でもリモート操作やコミュニケーションが可能になり、携帯端末を通して、情報が瞬時に確認できたり、リアルタイムに仲間とのやりとりができたりすることが日常になってきている。また、端末に話しかけることで、調べたいことをAIに代替させて、多くの情報を収集することが容易になってきていることも周知のことである。

このような技術革新は、一体どこまで進んでいくのだろうか、便利な生活に対する驚きや感動があふれる一方で、AIが私達の生活の大部分を代替してしまっているのだろうかという疑問さえ覚えてしまう。（ア）

先日、私は、あるHPに掲載されていた一枚の絵に釘付けになった。それは、一八三九年に描かれたフェルディナンド・ゲオルグ・ヴァルトミュラーの作品『磁器の花瓶の花、燭台、銀器』である。今にも花の香りが漂ってきそうな、立体感のある花の絵で、花瓶や銀器も精巧に描かれていることが画面からも伝わってきた。私は、本物を見てみたいという思いが次第に高まっていった。

かつて、この絵を所蔵していたのは、リヒテンシュタイン公国という国である。世界で唯一、侯爵家（君主）の家名が国名となっている。アルプスの麓にある小さな国ながら屈指の豊かさを誇り、その美術コレクションは宝石箱にもたとえられるほどである。それらの作品は、現在、オーストリアの首都ウィーンに所蔵されているが、日本でも、期間限定で数か所の美術館に作品の一部が展示されることになったのだ。

実際に美術館に入ってみると、その絵にたどり着くまで、多くの作品が展示されていた。まず、目に飛び込んできたのが、ヨーゼフ・ノイケバウアー作の『リヒテンシュタイン侯フランツ一世、八歳の肖像』である。ブロンズの長い髪、澄んだ瞳、そしてその満ち足りたような表情から、華麗なる生活をしていただと想像できた。また、八歳のフランツ一世と今にも会話ができそうな、そんな不思議な感覚さえあった。

次に、私が足を止めた作品は、あの絵の作家ヴァルトミュラーが描いた、『イシユル近くのヒュッテンエック高原からのハルシュタット湖の眺望』である。湖の奥にたたずむ山に柔らかな太陽の光が当たっているその美しさに、ヴァルトミュラーも心を動かされたのだろうと思えた。また、手前で眺めている人達の衣装から、描かれた時代の生活を想像することもできた。（イ）

そして、待ちに待ったあの花の作品の前に立った。やはり、本物の迫力は想像以上のものだった。近くで見たり、少し離れて見たりして、多くことに気づき、想像することができた。花々が活けてある花瓶は、日本の焼き物だったということ。銀器の装飾まで

本論 (事例)

結論 【R3】
(文章全体のまとめ)

細かく描かれていたこと。手前にあったテーブルクロスが今にも動きそうだったこと。そして、背景を黒くしたからこそ花が浮き出て見えるということ。さらに、実際の背景は、どんな様子だったのだろうかという思いを巡らせることもできた。私は、一つの芸術作品から、こんなにも多くの気付きや想像ができたことに驚きを感じた。それと同時に、想像力は、時間や空間を超えて、人と人をつなげることができるのではないかと感じた。

多くの情報を正確に処理するAIの能力に、人間が適わなくなる時代は、もう目の前に来ている。しかし、それぞれの情報から想像を膨らませ、新たな発想につなげる作業は、AIには代替しきれないことであり、そうあつてはならない場面も多くあるに違いない。(ウ)

便利さを追求する時代に人間らしく生きていくためには、これまで以上に想像力を働かせることが大切である。そのためには、実際に見たり触れたりする実体験も欠かせない。今後も、AIに任せる作業と私達自身が行う作業とをきちんと見極めていくことのできる**想像力を働かせていくことが重要である**と考える。
(自作)

問一 この文章を「序論」「本論」「結論」に分けると、「本論」と「結論」の初めの三字を書き抜きなさい。
レベル9

「本論」
先
日
、

「結論」
多
く
の

説明的な文章(意見文や論説文など)は、序論・本論・結論の三つの意味段落に分けられることが多く、本問題文もそのような構成になっている。それぞれの段落の役割を意識しながら読み進めることで、筆者の主張を読み取ることができる。

問二 次の文を文章の中から一つ選びなさい。
理由を述べている文である。
(ウ)の中

想像することは、人間ならではの喜びであり、尊さでもあるからだ。

(ウ)

問三 この文章で、小鳩さんが一番伝へ最も適切なものを選びなさい。
結論の段落に、筆者の主張が書かれていることが多く、本問題文もそのような構成になっている。

- 1 調べたいことをAIに代替させて、多
- 2 美術館に行き、絵を見ること
- 3 人間らしく生きていくために、想像力を働かせていくこと

3

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【文節の数を問う問題】

模範解答

1 次の文から正しく文節に分けられている文を選び、記号で答えなさい。

- ア 今朝の 天気 予報では、 夜に 雪が 降る ようだ。
- イ 今朝の 天気予報では、 夜に 雪が 降る ようだ。
- ウ 今朝の 天気予報では、 夜に 雪が 降るようだ。
- エ 今朝の 天気 予報では、 夜に 雪が 降るようだ。

レベル11・12

ウ

「天気予報」は複合語で一つの文節となる。「降るようだ」は区切らないので注意。

【文節の関係を問う問題】

2 次の文を読み、線部の文節どうしの関係を選択肢から選び記号で答えなさい。

- (1) 彼女の父は、有名なピアニストだ。
- (2) おやつに紅茶とケーキを用意した。
- (3) 今日の体育祭は雨だから、延期だ。
- (4) そこに置いてあるものを取ってほしい。
- (5) 動物園でパンダが笹を食べるのを見た。

「並立の関係」
二つ以上の文節が対等な関係で並び、一まとまりで文の成分になる。
「補助の関係」
『置いて ある』のように主な意味を表す文節に、意味を補う文節がついて一まとまりとなる。

- ア
- エ
- ウ
- オ
- イ

ア・主語・述語の関係
エ・並立の関係

イ・修飾・被修飾の関係
オ・補助の関係

ウ・接続の関係

【敬語を問う問題】

3 次の線部を正しい敬語に直しなさい。

レベル8

- (1) 学校の先生が家に来る。
- (2) お客さんにお茶を飲むようにすすめる。
- (3) 家族もそれが良いと言っています。

いらっしゃる。
お越しになる。等

召し上がる

申して

